

○ 本評価表は、童発達支援センター又は児童発達支援事業所従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・ 所定の広さは確保されているが、室内運動等の活動時は、近くの公園などへ出かけ対応をしています。 ・ 個別対応の時は、パーテーション等利用しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・ 児童発達責任者、保育士、児童指導員、理学療法士、パート職員を配置。職員の配置数は適切と思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・ 2階建ての為階段はありますが、手すりをつけ安全に配慮しています。 ・ 2階への昇降は、職員へ声掛けして行くよう伝え、補助が必要な利用者はスタッフが一緒に昇降しています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・ 日々の掃除・消毒を行い活動時には換気を心掛けています。 ・ 活動の部屋、静養室など活動に合わせた空間となっています。整理整頓を心掛け子ども達が落ち着いて過ごせる様心掛けています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・ 切り替えが必要な時や学習時間等本人が希望する場合は、1部屋を提供したり、仕切りを設置する等環境づくりをしています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・ 朝礼や夕礼以外でも必要に応じ情報共有を図り、PDCAサイクルを心掛けています。 ・ 全体会議でPDCAサイクルを確認をしています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けのアンケートを周知、集計し、HPIにも搭載しています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の朝礼や夕礼、月1回の全体会議で業務改善につなげています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・ 必要に応じ外部評価の実施を検討します。

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・職員の経験年数や業務内容に応じ、適切な内容の研修を案内し、全員が研修を受けられるようにしています。 ・職員それぞれの専門性の研鑽を推奨します。 ・本人からの外部研修受講希望がある場合、受講できるようにしています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ホームページ上で支援プログラムを公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・保護者面談を行い、ニーズの確認や子どもの様子を観察、発達検査の結果を踏まえ個別支援計画を作成しています。 ・今後は、子どもなりのやりたい事、挑戦してみたい事などを聞き取り目標・課題に向けての発達支援計画作成を行いたいと思います。 ・会議でアセスメントを立ててニーズや課題を分析しています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・適宜、インフォーマル・フォーマルな話し合いで情報を共有している。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		朝礼で個別計画書を読み合わせをし個別支援計画の共有を図っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		スキルリストを用いて評価をしています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に即した内容を個別支援計画に設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・職員ミーティングで活動プログラムの計画や改善を行っています。 ・リーダーが提案したのを職員で共有し取り組んでいます。また、リーダー以外の職員の意見も聞きながら進めています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・活動プログラムの継続性や見直しについて関係する職員全員で、適宜検討会議を開きます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・小集団活動を取り入れながら、個別活動や集団活動の適応性を確認しています。 ・一人ひとりの発達に応じ、集団適応やソーシャルスキルの視点を踏まえ、個別活動と集団活動の視点で個別支援計画を作成しています。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼で行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・夕礼で共有しています。 ・パートへの情報共有も行っています。（日報の確認）
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々、支援記録を記入し、支援の検証・改善に繋がっています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定まった時期だけではなく、適宜見直しを行っています。
関係機	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者や対象児童により詳しく適任者と思われる職員を選んで出席しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・関係機関と連携し支援を行う体制を整え会議は必ず参加するようにしています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・移行先や保護者の要望に応じて情報を提供しています。 ・
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		4月前になると相談員から学校等の関係機関と会議を行い情報共有をしています。 ・情報提供が必要な場合は、事業所側からも積極的に支援内容の情報共有や相互理解を図る場を設けていきたいと思います。
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			

関 や 保 護 者 と の 連 携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・必要の応じ、スーパーバイズや助言を受ける機会を設けています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・地域の公園へ出かけたときに交流があります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や連絡帳を通して伝えています。 ・日頃から子どもの状況や課題について話をする様に心掛け、必要に応じ個別相談の時間を設けています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ペアトレーニングの開催の定例化を図っていきたいと思います。(2025年度1回開催) ・保護者会を通して情報共有をしている。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に丁寧な説明を心掛けています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・子どもの最善の利益の優先考慮し支援計画を作成しています。 ・相談支援員との会議の中で、子どもや家族の意向を確認する機会を設けています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画書を用いて同意を得ています。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・必要に応じて相談を受けています。外部の支援が必要と判断した時は、速やかに対応しています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会を通して行っています。今後、気軽に立ち寄れる事業所を目指せるよう検討していく。（家族とおやつ作り、コーヒータイム等）
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・迅速かつ適切に対応するよう心がけています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・ブログを通して発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の記載された書類は鍵付きロッカーで保管・管理をしています。 ・職員採用契約時に個人情報取扱いの確認をしています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・一人ひとりにあった情報伝達を心がけます。 ・絵カードなどのツールを用いて取り組んでいます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・まだ開催できていない為今後、検討していきたいと思っています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	・各マニュアルを策定し訓練や研修を行っているがしているが、職員や家族への周知が不十分なので周知徹底を図っていききたいと思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・発生を想定した訓練は行っているが、周知が不足している為、周知徹底を図っていききたいと思います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に定期的な服薬や予防接種、発作時の対応など確認しています。 ・定期的にてんかん等発作時の対応マニュアルの確認をします。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・医師の指示書が必要な対象児童はいないが、保護者からの情報を聴き、おやつなどアレルギー食品の除去に取り組んでいます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に沿って、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等安全管理が徹底し支援を行っていきたいと思います。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	・家族等への周知が不足していると思われる為、周知徹底を図っていきたいと思います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・全体会議で報告し共有を図っています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を中心に外部研修参加及び法人内研修を実施し、全員参加を義務付けています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	・契約時に重要事項に記載し丁寧に説明しています。